

東京六華同窓会

(題字制作：南8期 田村功)

(旧/在京札中同窓会)

東京六華同窓会「ウェブ名刺広告」 ご協賛のお願い

新年、同窓の皆さまにおかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年も変わらぬお引き立てをお願い申し上げます。いとこ、甚だ不躰ながら、「東京六華同窓会」ウェブ名刺広告「ご協賛のお願い」をさせていただきます。スマートフォン版とPC(パソコン)版の掲出例および広告料金(正規版と簡易版をご用意)につきまして、添付をご参照ください。

前回発行(2024年5月17日)の会報から、紙媒体としての印刷・郵送を廃止してPDFでのウェブ掲出となっておりますが、これはコストカットと同窓会としての持続可能性を考慮したものです。事務局としても、21年3月の東京事務所の閉鎖からほぼ実務ベースでの活動に専念しております。また23年10月開催の総会にて、札幌の六華同窓会と同様、札幌第一中学校・札幌第一高等学校・札幌南高等学校の卒業生はすべて六華同窓会会員および東京六華同窓会会員となる旨が決定し、東京六華同窓会会の年会費が廃止される運びとなりました。

しかしながら、札幌と東京における毎年恒例の同窓会行事の開催、実行委員会の組織運営、ホームページの更新管理、現役南高生への寄付などは、これまで通り当該組織の年間予算から捻出しております。東京六華同窓会の懐具合は厳しい状況にあります。つきましては、東京六華同窓会のさらなる発



今からちょうど60年前の正門(六華の門)前にて。1965年1月撮影

展にご協力たまわりたく、PC版とスマホ版のフッター(最下部)に掲出する「名刺広告」にて、皆様の温かいお力添えをいただきたく存じます。コンテンツ充実に尽力し、同窓に高角度で響く限定ターゲットメディアとして、かつての紙媒体以上に広く認知・拡散されることをお約束いたします。個人事業主・幹事期・篤志家の皆さま、ご出稿を心よりお待ちしております。

2025年1月
東京六華同窓会事務局



PC(パソコン)版掲載例

スマートフォン版掲載例

《東京六華同窓会ウェブ名刺広告料金(年間)》

- ①【正規版】：金10,000円(税込) ※指定リンク付き
 - ②【簡易版(名前・卒業年のみ)】：金3,000円(税込)
- ・掲出場所：PC版とスマホ版のフッター、会誌PDF
 - ・資格：東京六華同窓会会員
 - ・掲出順：卒業年(例外あり)
 - ・更新：掲出10ヵ月を目途に事務局より次年度出稿のお願い
 - ・東京六華同窓会：info@tokyorikka.jp

東京六華同窓会会報(通算)第136号
2025年1月10日発行

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目2番15号
浜松町ダイヤビル2F
東京六華同窓会 広報委員会

デザイン・制作/
(株)メディアクリエイションズ

2025年「東京六華同窓会 総会・懇親会」のお知らせ

2025年度の「東京六華同窓会 総会・懇親会」を下記の日程で開催致します。

総会・懇親会の当番期は南41期・51期・61期です。

コロナ禍以降、イベントスペースでの開催が続いておりましたが、久々のホテル宴会場での開催となりました。その関係で7月開催となっております。同期、同窓の方をお誘いの上、奮ってご参加ください。

東京六華同窓会会長 片山晶彦(南23期)



六華ノोट
RIKKYO NOTES

《開催日》2025年7月19日(土) 総会 15時~/懇親会 16時~

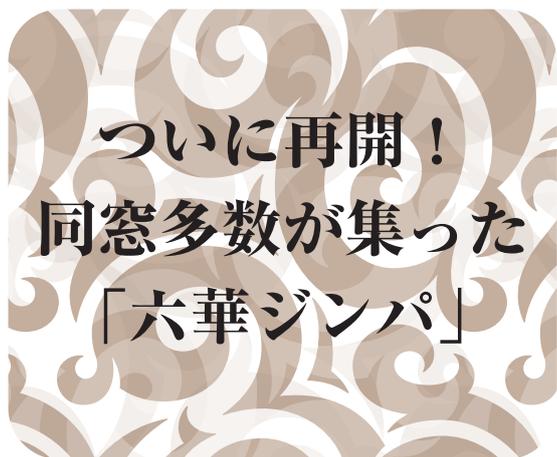
《会場》第一ホテル東京 5階「ラ・ローズ」 東京都東京新橋1-2-6
JR[新橋駅]北改札より日比谷口(SL広場側)徒歩約2分
東京メトロ銀座線[新橋駅]7番出口方面より内幸町地下歩道にて直結徒歩約2分

《会費》~南20期まで(8,000円) 南21~50期(12,000円)
南51~70期(8,000円) 南71期以降(3,000円)

2025年度の総会・懇親会の開催日は例年より約1ヵ月遅れとなる7月19日(土)です。久しぶりにホテルの宴会場を確保することができ、同期・同窓の皆さまと楽しく語らう時間をご用意しております。夏休みスタートの3連休で交通、宿泊が混雑する恐れがあります。遠方からのご参加の方は早めの手配をお願いいたします。

実行委員長 若林理(南41期)





ついに再開！ 同窓多数が集った 「六華ジンパ」

フェイスブック上の仮想部活「六華肉食部」が例年10月上旬の日曜日に主催していた「六華ジンパ（ジンギスカンパーティー）」が、コロナ禍による中断を経て、2019年以来5年振りに開催されました。今回は北村聡さん（南30期）をはじめとする有志実行委員によって企画・運営されたのですが、旗振りが替わったこと、数年の時を置いていること、初めての会場であったことなどから開催までには紆余曲折多敷。それに関わった者の一人として、その内幕をお知らせしたいと思います。

まずは会場の手配が必要、ということで、24年9月29日（ニクの日です）の日曜日にJR両国駅前屋外のパーベキュースペース「BBQ DAYS 両国」を予約するところから始まりました。この段階で45名までという上限が決定（ちなみに告知はフェイスブックの「六華応援ひろば」にて行いました）。次に重要なのが羊肉の手配。以前は六華御用達の居酒屋さん経由で仕入れたこともありましたが、昨今の羊肉高騰もあり精肉店から直に仕入れます。マトンレッグ3kg、ラムロール12kg、羊脂3kgを予約。「タレ」は六華の中でも「ベル」派と「ソラチ」派に分かれているため、両方を仕入れます。事前に取り寄せて会場に持ち込むのですが、市販の瓶をテール分、となるとコストも重さもなかなかのものに。そこで大きなペットボトル入りを購入し、それを軽量のボトルに会場で小分けすることにしました。色違い2種のボトルを「ダイソー」で手配します。ジンギスカン用の鍋は会場にないので、これもアルミの鍋をネットで購入。実は以前開催された際の反省録が残されており、それが今回の開催に当たって大変有益な資料となりました。そこから、ビールの注文数などを割り出します。ビールは24缶の箱を5箱！注文。「黒ラベル」「エビス」「晴れ風」「秋味」「オリオン」「ザ・ドラフト」の3社5種。ジンギスカンには大量の野菜も不可欠で、当日購入して現地でカットするほか、事前購入でカットして持ち込みということになります。その他細かいこと数多の決め事を、SNSを使って実行委員間で行い当日を迎えます。

数日前までは台風の接近も予想されていたものの、まずまずのお天気に恵まれました。私は当日買い出し隊の2名と一緒に「イトーヨーカドー」で野菜等をゲット、「カクヤス」でビールを仕入れ、「まいばすけっと」で、飲み物を冷やすためのロックアイスと、予約してあった塩むすび88個を買付け車で会場へ搬入。肉は精肉店から会場へ直接搬入し開場を待ちます、受付や作業用テーブルを確保した後、参加者が開場入り。最終的にご家族も含めて44名が参加しました。私も差し入れて持ち込んだ31箱の白ワインの中身を取り出して、ビールとともに氷水に漬けます。



24缶の箱を5箱注文。黒ラベル、エビス、晴れ風、秋味、オリオン、ザ・ドラフトの3社5種を用意

北村さんの開会宣言でジンパは開始。早速ビールで乾杯の後、迎いは煙と羊臭に包まれます。参加者からもパンやサラダ、赤ワインなどのお酒と、多数の差し入れがあり、途中2025年東京六華同窓会総会・懇親会の幹事期からの告知などを織り込みながら、2時間のパーティーはあっという間にお開き。多くの差し入れのおかげもあり、収支はほぼトントン、という感じでめでたく締めることができました。実行委員として参加した長内宏之さん（南37期）は、「私は13年の初回から参加しているが、幅広い世代と一緒に楽しめるイベントだと思う。幹事長を担っていた先輩が残してくれた素敵な備忘録を頼りに、幹事一同で試行錯誤しながら開催にこぎつけられ、たくさんの方に参加いただけてよかった」と語り、初参加の高橋文菜さん（南63期）からは、「ジンパ」という懐かしい言葉の響きに惹かれて参加したのですが、六華の先輩方に囲まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。ワインもおいしかった！ぜひまた参加したいです」とうれしい感想が。実行委員の緊密なチームワークのほか、参加の皆さんのご協力で無事乗り切ることができましたが、参加者の最終確認など、さまざまな課題が浮き彫りになったのも事実。今後、今回の反省を生かしつつ、有志の方々の力を頂きながら継続していければと思います。



タレはベル派とソラチ派に分かれる。マトンレッグ3kg、ラムロール12kg、羊脂3kgがあっという間に胃袋へ



広報委員長
南28期 今井康人

「南高野球部全校応援」を応援！

父が転勤族だったこともあり、大学入学のため上京すると同時に、実家も石川県金沢市に引っ越したため、その後私の帰札の機会は少なく、2024年10月19日の六華同窓会出席のため札幌に向かったのは5年ぶりでした。今回は25年東京六華同窓会総会・懇親会実行委員としての参加です。

六華同窓会懇親会での宮澤一校長先生のあいさつで「当校が秋季北海道高等学校野球大会で全道ベスト8に進出しており、明日の準々決勝の対戦相手は先ほど駒大苫小牧高校に決まった」と聞き、翌20日の試合を観戦しようと思いい立ちました。母校野球部が出場する試合の観戦は今からさかのぼること20年以上前、00年夏に南高が61年ぶりの甲子園出場を果たし、東京から応援に行ったとき以来のことです。

試合会場の大和ハウスプレミストドーム（札幌ドーム）に行くのは初めて。私が南高在学中、1988年に開業した市営地下鉄東豊線は、当時豊水すすきのから栄町までの営業で、豊水すすきのから福住方向に乗りするの初めてのことでした。同行してくれた友人の案内のまま福住駅から徒歩で現地に向かいましたが、試合開始が予定よりかなり遅れるとの情報を入手、途中にある、「ラーメン山岡家」で栄養補給しながら開始時刻が近づくのを待ちまし



秋季北海道高等学校野球大会で全道ベスト8の快挙



大和ハウスプレミストドーム（札幌ドーム）全景

た。地上からエスカレーターを上り、スタジアムに入るとスコアボードには「札幌南―駒大苫小牧高」の文字が。04年、翌05年夏に甲子園で大会連覇を果たした強豪校、相手にとって不足はありません。1塁側内野席に座り、お互いの応援団のエネルギー交換を見て気持ちもさらにたかぶりま

す。16時47分にプレイボール。南高の攻撃で試合開始、初回からランナーを出すも無得点。序盤はお互いヒットが出ず、得点が入らないまま試合が進みました。

3回表の攻撃、両チーム初のヒット、南高に2塁打が出るもあと一歩のところまで得点できず。その裏、相手に1点先行されて以降は毎回南高がピンチを背負う展開に。5回裏にはビッグイニングを許し、6回裏終了時のスコアは0対8と大きくリードを許します。

7回表、得点差によっては最後の攻撃になるかもしれないところで先頭バッターの2塁打によりノーアウト2塁の大きなチャンス。ここで感激したのは全校応援でチャアリーダー、ブラスバンドをはじめとする在校生が一体となり、選手別のテーマ曲で盛り上げる大応援団。チャンステーマの「アゲアゲホイホイ」は何分続いたでしょうか？ 1点が入り南高応援団は最高の盛り上がりを見せますが、試合はそのまま1対8のワールドゲームで終了、1塁側スタンドに一礼する選手たちに拍手を送り、試合会場を後にしました。私の在学時も札幌地区予選で勝ち



1塁側から観戦。紫のメガホンが一体感を生む

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
札幌南	0	0	0	0	0	0	1			1	3	2
駒大苫小牧	0	0	1	2	5	0				8	9	0

1-8で敗退（7回コールド）。頑張りました！

進んだ時は全校応援があり、3年間クラスが一緒に3年次はエースピッチャーだった友人をはじめとする、当時のチームを円山球場まで応援しに行ったことを思い出しました。青春ってやっぱりうらやましい。

南41期 川上浩太

新展開への過渡期 東京六華同窓会主催 「2024年度 就職相談会」 開催

昨年度よりも、はっちゃけムード。東京六華同窓会主催の第30回「2024年度就職相談会」が、昨年11月23日(土)にTKP新宿西口カンファレンスセンターで催された。学生の参加人数は、事前申請12名のうち男子4名(71期1名、72期3名)・女子4名(72期1名、72期相当子女1名、73期2名)の計8名で、キャンセル連絡は2名。参加人数に関して、18年度は14名、19年度は16名、コロナ禍を挟んで22年度は25名(六華子女1名)、前年度は12名とバラつきがあり、今回の8名は近年では最少である。

保護に育てられた私個人も、仮に実家が都内ならば29年前の就職相談会では同伴していたはずである(怖)。「六華同窓会の関連行事への参加は初めてでクラス会の記憶もない。ホームページで就職相談会を知った」という母の心、偉大なり。子どものためならば、足が遠のいていた六華関連イベントへの参加をいとわない同窓は存在するのである。これは六華同窓会の維持拡大において、新種の契機となるであろう。

現役サラリーマン11名をそろえた就職相談員の立場からは、前年度同様に相談会本会&同会場での親睦会、および2次会まで参加した吉田篤史さん(南57期)の声を記しておく。今から13年前に就職活動に取り組んだ吉田さんは、「常見陽平氏の基調講演にあった『ぶれない自分への五つの問い』は、当時の就活中だった自分自身に聞かせ、考えたい内容だった」と、常見氏の新書「50代上等!」を手に振り返る。同時に、「それは社会人として経験を積んだ今も考えるべき内容でもあった。不易流行という言葉にあるように、時代は様変わりしているものの、本質的な自分自身の在り方や価値とを諸先輩方と考える機会になった」と、就職相談会について評価した。

最後に、自主参加のため補足にとどめるが、「これが就職相談会の本丸かもしれない!」の声もある近隣居酒屋開催に場所を移した2次会への学生参加は6名(北大、東大、慶応大、中央大、上智大)。例年以上の高確率での場所移動であり、ここぞとばかりに昔話に花を咲かせる父親(祖父)世代の相談員たちと大いに語らい和気あいあいと盛り上がった。

札幌南高校に勤める六華同窓教諭からよく聞く話として、卒業式における仮装参加の熱量は、どういうメカニズムなのか1年ごとの浮き沈みがあるという。今回の就職相談会や実際の就職活動においても、直近の上世代が良い意味でも悪い意味でも反動として機能するのかもしれない、これは勤務先でOB・OG面談や人事採用にも関わる相談員たちもおそらく感じている。男子の参加が1名のみで、残る女子11名全員から「とにかく不安です」の声が挙がっていた前年度の印象が尾を引いていたが、2次会がお開きになった後の「ヤング六華」たちの屈託のない笑顔で多少は楽観できた。西武新宿駅までの道すがらふと気付いたのだが、ややもすると、これは学生側からわれわれ年長者への気遣いなのかもしれない。合格。

広報委員

南43期 北條貴文



ほぼ貸し切り状態。
KJミートダイニング
新宿西口店で催された
2次会



開場に持参した著書
「50代上等!」も
早々に売り切れ。
基調講演で学生に
エールを贈った
常見陽平さん
(南43期)



2次会を終えて。
就活の健闘を祈る!



東京六華同窓会
幹事長の
福山賛次郎さん
(南23期)を
囲んで



学生と相談員が
車座で語らう。
左端の眼鏡男子が
吉田篤史さん
(南57期)

六華同窓会2024 総会・懇親会を終えて

六華同窓会2024実行委員長
廣部修平（南49期）



廣部修平
六華同窓会2024
実行委員長（南49期）

2024年10月19日（土）に、札幌パークホテルにおいて六華同窓会2024総会・懇親会が開催されました。今年の参加者数は472名。多くの方々にご出席いただきましたことに厚く御礼申し上げます。また関係者の皆さまには幹事期である南49期に対し、広告協賛・個人協賛をはじめとする並々ならぬご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは「架けよう。六華大橋！」をテーマに活動を行ってまいりました。先輩方から私たちへと架けていただいた橋は、「かけがえのない同期との再会が六華同窓会の一つの大切な意義である」というメッセージと感じ取りました。この橋を次の世代に架けていくためにも、まず私たち幹事期が同期との再会を楽しみ、この活動が素晴らしいものであると感じることが大事だと考えて準備を進め、総会・懇親会当日を迎えるに至りました。

そこで考えたのがオープニング企画です。私たちの活動の映像を通して、先輩の皆さまにはご自身の幹事期活動を重ねて懐かしんでいただき、後輩の皆さまには幹事期活動は楽しいものだと知っていただくというものです。暗転の中で流れるチャイムの音に、目を涙で濡ら

す同期も多くいました。そして動画の後の静まり返った会場の一体感！我ながら最高のオープニングだったと自負しております。企画から準備、動画の制作、当日の運営、そしてオープニングには直接関わらずとも、懇親会に関わったすべてのの方々に感謝申し上げます。

懇親会はその後、林美香子会長（南22期）のあいさつ、窪田毅副会長（南25期）の乾杯のご発声の後、歓談へと進みました。歓談では、同期同士、同窓生同士の楽しい話があちらこちらから聞こえてきました。野球部監督である田畑広樹先生（南51期）からは直後の全道大会を控えてのスピーチも頂きました。

その後恒例の一中校歌斉唱と続きます。今年は一卒の大先輩にもご登壇いただき、一緒に一中校歌を斉唱したことは、私たち幹事期にとっても大きな思い出となりました。さらに同窓会旗の引き継ぎが行われ、25年の実行委員長、高橋智美さん（南50期）のあいさつの後、札幌南高等学校校歌の斉唱、そして板垣昭彦副会長（南25期）による締めのご発声をもって懇親会の幕は閉じられました。

25年は南50期が幹事期を務め、活動テーマは、

「Session For The Future」です。未来に向けてどのようなSessionがされるのか、25年の総会・懇親会も非常に楽しみです。皆さまには私ども南49期に寄せていただいた御厚情を、南50期の皆さまへも引き続きお願いし、南49期を代表しての総会・懇親会の開催報告といたします。

2025年度の東京六華同窓会 総会・懇親会は7月の開催になります



東京六華同窓会 2025 総会・懇親会
実行委員長 若林 理（南41期）



2025年度の総会・懇親会は例年の6月ではなく、7月に変更し、7月19日（土）に新橋の「第一ホテル東京」にて開催することになりました。新型コロナの影響で見合わせていた対面開催が復活したのは23年度でした。浜松町の貸会議室で久しぶりに同窓の皆さんにお会いできて嬉しかったことが思い出されます。24年度も半蔵門の貸会議室で盛大に行われ、ようやく対面形式が普通にできる環境が整いました。

札幌の同窓会が毎年札幌パークホテルで行われているように、東京でもホームグラウンドを持ちたい、との思いから会場を探し始め、同期・同窓のご縁から「第一ホテル東京」にて開催できることとなりました。7月はぜひ新橋へお集まりいただけたらと思います。

今年のテーマは「六華ノオト」。16年、札幌の六華同窓会のテーマで、9年ぶりの再登板です。「六華ノオト -RIKKA NOTES-」は、同窓生一人ひとりを「音」に例え、各々の奏でる音の調和により美しい旋律が鳴り響くよう、そして、それぞれの歩み（記録：notes）をつないで新たな時代を紡いでいけるようにとの願いを込めています。その願いは変わらず、このテーマを旗印に南41期・51期・61期が集まり、同窓の皆さまをおもてなしいたします。また、7月の開催に向け、会誌の広告・協賛募集を順次開始します。ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

2025年7月19日（土）、新橋の第一ホテル東京で皆さまのご参加をお待ちしております。

「社会的養護の現場から、こどもに必要なことを考える」 第128回「六華サロン」開催

幸か不幸か、過保護で教育熱心な親に育てられた(はずの)六華同窓にとってはショックを受けるデータが多かったかもしれない。2014年5月28日(火)、早稲田大学人間科学学術院社会的養育研究所所属の上鹿渡和宏さん(かみかどかずひろ/南40期)をゲストスピーカーとして招聘した第128回「六華サロン」が、本の森ちゅうおう(京橋図書館)多目的ホールにて開催された。テーマは「『こどものために』で終わらせず、『こどもとともに』



第128回六華サロン記念写真。
2024年東京幹事期の南40期を中心に

へつなげる～社会的養護の現場から、こどもに必要なことを考える～」。参加者はリアル会場とzoom配信を合わせて18名。90分の登壇トーク後に近場で催された懇親(飲み)会も大いに盛り上がった。

具体的な事例報告をもとに、「これからの社会的養育」について語った上鹿渡さんは、児童福祉法が改正され「子どもの権利と社会の責任」が明文化された2016年が大きなターニングポイントであると指摘する。この16年は出生数が初めて100万人を下回り少子化への警鐘が盛んに鳴らされた年でもある。全国の児童相談所における虐待相談件数の推移を見ると、1998年の5,000件台から増加の一途にあり、2016年の約12万件から急上昇し20年には20万件を超えた。

この数字の背景には、子どものSOSを早期にキャッチする福祉局の活動強化や各自治体の意識の高まりもあり、単純な虐待数の増加だけでは片付けられない。多面的な分析と対応という言葉はやさしいが、要はケアが必要な子どもひとりひとりに応じてケースバイケースでの養育が必要なのだ。素人考えでは気が遠くなってしまう。

日本および諸外国のデータがプロジェクターにアップされるたびに目を見開く参加者とは対照的に、落ち着いたトーンで持論を展開する上鹿渡さんの“仕事”ぶりは実に淡々としていた。この温度差に、これからの社会的養育について、いささか妙な安堵^{あんど}を憶えた六華サロンだった。

(広報委員 南43期 北條貴文)



上鹿渡和宏さん(南40期)



全国の児童相談所における虐待相談件数の推移(1990年～2020年)

編集後記

広報委員長

今井康人(南28期)

ウェブ会報となって2号目。紙の時とは勝手が違い、タイムリミットやペースがなかなかつかめないので、前号から広報委員の北條貴文さん(南43期)がバリバリ活躍し、今号もなんとか発行ならぬ発信にこぎ着けました。

総会・懇親会、六華サロン、就職相談会、そして六華ジンパなど、すべてのイベントが対人開催となった今、そのありがたさ、うれしさを身に染みて感じていたのは、私だけではないでしょう。今号ではそれらを紹介したほか、2025年の東京六華同窓会総会・懇親会の開催予告情報

もリリースすることができました。会員の皆さんには、これらのイベントへの積極的な参加をお願いします。また、久しぶりのホテル開催となる総会・懇親会の実行委員会には、物心両面の厚いご支援をお願いします。加えて諸物価高騰の中、会費の値上げに踏み切らざるを得なかったことに関しても、ご理解をいただきたく思います。

まずは1月18日の東京六華同窓会「新春の集い」で、多くの同窓の皆さんとお会いできるのを心より楽しみにしています。本年もよろしくお願いたします!

「六華サロン」とは?

かつて東京・九段下(千代田区)にあった東京六華同窓会事務所を会場に、カジュアルな意見交流と学びの場として2008年10月24日にスタート。20年2月20日の第126回を最後に開催がストップしていたが、田部知江子さん(南39期)の声掛けにより、元朝日新聞記者・ジャーナリストである岡野直さん(南28期)をゲストスピーカーとして24年2月29日に復活開催された。次回、第129回は田部学さん(南43期)をゲストに25年2月3日(月)開催を予定している。